

家庭系収集ごみ有料化に向けた地域意見交換会 (旭南コミュニティ) 意見の概要

日 時 平成27年7月5日(土) 17時から18時20分まで

場 所 旭南コミュニティルーム(旭南小学校内)

出席者 地域の方: 10名(常任委員会(各行政区代表及び副代表))

事務局: 6名(環境経済部長、ごみ対策課長、同副課長、リサイクルプラザ館長、
ごみ対策課担当者2名)

家庭系収集ごみ有料化検討会議会長

資料に基づき事務局説明

- (1) 「知多市家庭系収集ごみ有料化基本計画」について
- (2) 意見交換事項
 - ア 手数料の設定について
 - イ 効果的な施策について

<質疑、意見>

《1人1日当たりのごみの量について》

【意見等】 1人1日当たりのごみ量が636gである原因について、人口の増加や自然増という捕らえ方では困りますが、市の分析はどうなっていますか。

【事務局】 知多市のごみ量自体は減ってきていますが、他の自治体が、より一層ごみを減量しているので、知多市が相対的に多い状態になっていると判断しています。決して、知多市民の皆さんがごみをたくさん出しているとは考えてはいません。

知多市は、早くから地域の皆さんの意向を伺いながら、リサイクルを実施してきましたが、名古屋市が藤前干潟の最終処理場計画の中止を契機に、急速かつ強行にリサイクルを推進するようになった結果、他の自治体の資源化がより進んだのではないかと考えています。

《ごみ処理施設とごみ処理費用について》

【意見等】 ごみを燃料化しているとのことですが、他の燃料は使っていますか。

【事務局】 施設見学では、ごみをガス化し、燃料に使っていると説明していますが、助燃の必要に応じて都市ガスを使っています。

【意見等】 東海市と統合した施設の燃料はどうする考えですか。

【事務局】 新施設の場所、焼却方式等は、まだ決まっていますが、技術の進歩に合わせて、新しいエネルギーの有効利用の検討をしています。

【意見等】 ごみをそのまま埋め立てる計画はないのですか。

【事務局】 ごみは直接埋めず、燃やして減容し、焼却残さの有効利用も検討します。今後は、より資源化を推進し、埋立量を減らすように努めていきます。

【意見等】 ごみ処理費用の中には焼却、埋立の他の費用は含まれていますか。

【事務局】 ごみ収集費用、人件費の他、リサイクル費用も、全て含まれます。

【意見等】 ごみ収集、焼却、埋立等の費用を半減しても、その費用がリサイクルに回るのであれば、ごみ処理全体に掛かる費用が半減する訳ではありません。

【事務局】 そういうことになります。

《常滑市の有料化導入の影響等について》

【意見等】 平成24年10月からの常滑市の有料化実施に伴い、常滑市民が知多市域にごみをたくさん捨てに来ているので、市議員を通じ苦情を言いました。

近隣市町と一斉に有料化を導入しないと、どこでも購入できる安い指定ごみ袋を使って、手数料の安い市町にごみが来てしまいます。その状況が続いているために、知多市のごみが増えているのではないかと思います。

【事務局】 以前、知多半島内一斉の有料化導入を検討していましたが、常滑市は事業仕分けなどに挙がり、早急な導入になったと聞いています。現在、知多半島内の他市町にも有料化の動きはあります。

【意見等】 可能であれば、一斉に足並みを揃えてほしかったです。

【事務局】 家庭生活と区分しにくいご商売関係のごみが多少混じっている分には仕方ないのですが、悪質な例では、市境でごみ収集場所へは排出禁止の事業系ごみ、建設廃材等が捨てられている場合もありました。

【意見等】 悪質なものは、警察に届けたらどうですか。

【事務局】 知多市が有料化を導入すれば、越境の不適正ごみ抑制にはなりますが、人の動きもあり、地域と行政が通じた排出指導の必要性を感じます。

【意見等】 逆に、知多市民が東海市にごみを捨てたところ、ごみ袋の中を調べて、関係先に電話で注意したとのこと。東海市はそこまで徹底していると10年ぐらい前に言われたことがあります。

【事務局】 常滑市の有料化開始当初は、市境の地区で何度かごみ袋の中を調べましたが、証拠物は発見できず、その後も大草、南粕谷、粕谷台を何度も巡回し、地域の方と話し合いの中で解決してきたという経緯はあります。

【意見等】 最近も、可燃物収集日の火曜日と金曜日の朝に越境ごみを見掛けます。

【事務局】 再度、常滑市の所管課に、越境ごみ防止について要請しておきます。

《手数料額について》

【事務局】 東京都では、焼却残さ埋立ての最終処分場の残余が少なく、ごみ排出抑制のために、1リットル当たり2円の手数料設定の自治体が非常に多く、指定ごみ袋10枚が800円、1,000円する高額な設定になっています。

また、多摩地域では埋立て場所がないため、処理費用の掛かる焼却灰のセメント化をしており、指定ごみ袋の価格が高い設定になっているようです。

【意見等】 ごみの単位で使用しているリットルとgの換算はどうなっていますか。

【事務局】 ごみ1リットル当たり約0.1kgと換算して、一番大きい45リットルの袋の重さを4.5kgとしています。

【意見等】 現在、指定ごみ袋はいくらで販売していますか。

【事務局】 45リットル袋10枚が約100円で販売されていますので、1枚当たり約10円になります。

【意見等】 公費負担事業の有料化は賛成です。費用が高くなれば人は節約の努力をするので、遠慮せず厳しく大いにやってほしいと思います。赤字分は税金で負担するため、多量排出者には袋代を負担してもらえばいいと思います。

【意見等】 ごみ袋に缶等の混入が多いことから、地域回収を徹底し、1人でも多くの住民に周知するため掲示板にチラシを張りました。反響はありましたが、無

関心な人たちにはどんな制度も効果がないため、積極的に指導すべきです。

1袋が10円なら粗末に使いますが、100円なら大事に使うと思います。

【事務局】 他地域の意見交換で、手数料額は案の倍額でも良い、という意見もありましたが、ごみ減量やその動機付けの効果も踏まえ、この程度で良いですか。

【意見等】 周りとの釣り合いが大事だと思います。

【事務局】 周辺の自治体と釣り合いの取れた手数料額を考えていきます。

【意見等】 東海市の状況は、どうなっていますか。

【事務局】 一定量無料型の家庭系収集ごみ有料化を実施しています。一定量の指定ごみ袋を無料配布した上で、追加は10枚 1,100円で指定ごみ袋を購入する形ですが、一般的な世帯は配布される袋量で足りているようです。

《直接搬入と定期収集の手数料額について》

【意見等】 直接搬入するにはガソリン代が掛かりますが、直接搬入と収集の手数料との値段の格差はどうなりますか。

【事務局】 収集の手間が無い直接搬入の方が、定期収集よりも著しく安価な手数料であれば、家庭系収集ごみ有料化がごみ減量につながらない懸念があります。

家庭系ごみ直接搬入手数料の10kgにつき123円は、ごみ焼却と最終処分の総費用のうち家庭系ごみ直接搬入分の約3分の1の負担割合が根拠ですが、収集ごみの手数料との相関性については、今後、整理します。

なお、家庭系収集ごみ有料化に伴う手数料の対象となる費用は、ごみの収集と中間処理、最終処分の全てです。

家庭系ごみ直接搬入手数料の「1回搬入量50kg以下は無料」は止め、10kgからの徴収を考えていますが、収集ごみの手数料を1袋50円程度に設定した場合には、直接搬入の手数料単価は値下げを検討しています。

《負担軽減の取組メリットについて》

【意見等】 ごみ減量に積極的に取り組んだ市民への具体的なメリットとは何ですか。

【事務局】 有料化で、高額な指定ごみ袋になれば、ごみを減量することが袋代の負担減になることをメリットと考えています。

《指定ごみ袋の変更等について》

【意見等】 強度のある袋は多量に詰め込めますが、袋の強度はどうなりますか。

【事務局】 現在、販売されている袋の多くは厚さ0.035ミリ程度なのですが、あまり詰め込めるようでは、ごみ減量の効果が下がるため、現在とほぼ同じ厚み0.035ミリから0.04ミリ程度の袋を考えています。

【意見等】 常滑市では、有料化後に家庭ごみが減ったということですが、実際どのように減るのでしょうか。

【事務局】 常滑市は資源回収に力を入れて、ごみを減量しています。紙類は新聞、ダンボールの他に雑紙の回収に力を入れており、細かい雑紙を入れて回収に出すための紙袋が欲しい方には、紙袋の配布もしているようです。

また、常滑市では不燃物のごみ収集を止めて、不燃物は資源回収で対応しています。生ごみも、生ごみ処理機等による資源化を勧めています。

細かい雑紙は知多市も資源回収の対象ですが、市民への周知の努力が足りないことを反省します。

【事務局】 容器包装リサイクル法では、紙やプラスチック容器類も回収し資源化することになっていますが、紙はほぼ資源化されているものの、プラスチック類は回収された半分程度しかリサイクルされておらず、残りの半分は運搬にガソリン代などを費やして、また、焼却しているのが実情です。

したがって、知多市の焼却施設は、他自治体の施設と異なり、焼却に熔融方式を採用しており、プラスチック類は重要な燃料源となっていることもありますので、今後もプラスチック類の資源としての回収は考えていません。

【意見等】 ごみになる元の物を減らす取組は考えていないのですか。

【事務局】 環境省の求めるリデュース、リユース、リサイクルの3Rの話は各所で伝えています。不用品の常時展示による再利用推進事業などはやっていませんが、啓発目的のリユース展を年に1回開催して、比較的質のよい粗大ごみ展示し、無料で市民に提供しています。

その他、小型家電リサイクルに取り組んでいます。家電リサイクル法対象品であるテレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機以外の家電品は全て小型家電リサイクル対象であり、認定業者に売却可能で、特に希少金属が多く含まれる

携帯電話やパソコン等は比較的高価で売却できています。現在、小型家電は清掃センターとリサイクルプラザで直接搬入分を回収していますが、携帯電話等の小型の物は公民館等に回収ボックスを設ける方法も検討しています。

清掃センターに直接搬入された粗大ごみからも家電品を抽出し、破碎処理を行わないで直接業者に売却していますが、再利用品ではないため、再利用であるリユースではなく、リサイクルとなっています。

《資源回収について》

【意見等】 リサイクルはごみ減量の有効な手段ですので、資源回収品目を増やすことはできませんか。発泡スチロールや色付きトレイの除外は少し厳し過ぎるのではないのでしょうか。子ども会の回収では缶を潰す、地域回収では缶は潰さないといった違い、ペットボトルキャップは対象外、という現在のやり方ではこれらの物がごみになっているということです。

月1回の資源回収では缶等は溜まる一方ですので、地区の役員等に負担が掛からずに、回収回数を増やすことはできませんか。しかし、資源回収の回数を増やしても処理費用は減らない、といったことの整理が必要です。

【事務局】 資源回収品目の中には、売却可能な物、処理業者へ無料で引き渡しできる物、処理費用が必要な物もあります。発泡スチロールと色付きトレイは資源化ルート確保の可能性があり、ペットボトルキャップはワクチン寄附への無料仲介業者もありますので、資源回収品目として検討します。

布類は、布団等の混入を懸念して衣類に限定して回収していますが、布団等は指導により排除しつつ、衣類以外の受入れ拡大を検討します。

缶は、プレスして出荷すれば高値で売却可能ですので、プレス時にうまくかみ合うように潰さずに回収していますが、子ども会は回収業者に直接渡しているため、潰しても問題ないということになっていると思います。

紙や布も、市は取扱いが大量のため高値で売却できています。市は地域回収分の売り上げを各地区に還元していますので、できるだけ高値で売却して還元額を確保したいのですが、資源回収量を増加、回収しやすい方法と地域への還元金等のバランスについては、地区との相談になるかと思っています。

【意見等】 資源回収に尽力しても以前に比べ地区への実入りが少なく、頑張り甲斐がありません。もう少し奨励金を高くしてもらえませんか。

【事務局】 資源回収のうち集団回収の奨励金は1kg当たり5円で始めましたが、その後、売上金との兼ね合いもあり、一度は7円にしました。しかし、市の財政事情もあり、現在は、集団回収は2円、地域回収は0円となっています。

ただし、地域に還元している地域回収分の資源売上金は、現在1kg当たり10円程度になっています。

有料化は市全体の方針であり、手数料収入も市全体での活用が求められていますが、ごみ処理の所管課としては、ごみの減量と資源化の推進に協力いただく地域に、ごみ減量への動機付けとしても、一定の還元をしたいという思いはありますので、地区からも要望があるということをお伺いします。

【意見等】 資源売上金の地区への還元を知らないことや、地区行事等への参加機会が少ないことが、資源を積極的に出す方が少ない理由と思われるため、資源の売上金が地区財源になっていることをもっとアピールしてほしいです。

【事務局】 地区への還元金は、以前はちり紙交換的な感覚でしたが、各地区の考え方によって住民へ直接還元する、しないの違いが生じていると考えています。資源搬入者への指定ごみ袋配布、スタンプ制で資源搬入回数に応じた地区商店で利用できる金券類の配布をしている地区もあります

ピーアールの回覧板等を地区で作成する場合には、原稿作成等を協力しますので、ご希望があれば、ご連絡ください。

【意見等】 屋根がある資源回収場所で、ダンボールが前日から大量に持ち込まれた時には夜間にシートを掛けに行きました。可能であれば、屋根付きの常時回収場所を作ってほしいです。家庭系収集ごみ有料化の導入に伴って、地区住民全員が資源を回収場所に搬入したら大変なことになります。

善意で、不燃ごみに出されている缶を回収し洗浄して資源化したり、夜間に資源回収場所のシート掛け等されている方に対して、ごみ減量に資していると考えたら、そうした善意に報いるものがあると思います。

【事務局】 地域回収場所は地域による違いがあり、公園が回収場所の場合は屋根等の構造物の設置は困難です。地区による意識の違いもあると思いますが、地区

ごとの対応や、公共的施設の利用なども検討していきます。

【意見等】 地区内に民間の資源置場があり、利用者も多いので、資源回収場所の常設はできませんか。

【事務局】 常設の資源回収場所として公共的施設等の利用を検討する場合に、受入れの問題や地域性もあり、全地区に設置することは考えていませんが、地域からの要望に対しては、有料化は行政改革課題の施策のため、他の所管課と交渉して検討していきます。なお、民間施設を利用されることも良いですが、地域回収分が減少すれば、地区への売上金の還元は減ることになります。

《不適正排出の対策について》

【意見等】 名古屋市在住時に、夜中に市外からのごみ持ち込みに対して、前夜8時頃から出向き何回も警告札を立てましたが効果がなく、張り込みの結果、廃棄物処理法違反の現行犯逮捕となりました。罰金処分は必ずありますので、捕まえて指導すれば効果はあります。現在の在住地区のルール違反の者に、警察署に通報すると注意したところ効果がありました。ごみや資源の早出しは原則的には法律違反になりますので、行政指導すれば良いと考えます。

ごみの増加は世界経済の発展には貢献しているとは思いますが、マナーが悪いことは良くないと思います。地域やコミュニティが協力して何か良い思索を考える必要があると思います。

【意見等】 がんじがらめにするよりは控える方が良いと思います。

【意見等】 他市からの転入者は、知多市は他市に比べ分別が甘い、と言っています。

【事務局】 幹線道路沿いの収集場所等については、地区の利用者以外の不適正利用や早だしが考えられますので、行政指導も検討します。

【意見等】 ごみ収集後に、清掃員が収集場所をきれいに清掃してくれているので、ありがたいと感じています。

《ごみ減量等推進員等について》

【事務局】 ごみ減量推進員等の設置について、報酬などは出せないと思いますが、推進員の腕章等の作製は可能ですので、検討していきたいと考えています。

【検討会議会長】 家庭系収集ごみ有料化基本計画について、欠くことのできない意見を皆さんにいただきました。

次に、平成36年に予定されている東海市とのごみ処理施設の合併のことを考慮すると、市民に対しては現在の知多市のごみの現状を把握してほしいと考えています。

現在は有料化についての内容を検討していますが、平成36年からのごみ処理施設の統合を見据えると、不公平感や他市町との足並みを揃えるという指摘を踏まえ、そこをどう折り合いをつけながら、ごみの減量に取り込んでいくことが重要だと考えております。

私は環境経済学の専攻ですが、その中でよく言われる3R、その中でもリデュース、ごみの減量が一番大事と考えています。そのリデュースを進めていく上で何が重要かと言えば、ごみの現状、自分とごみとの関係をどう理解してもらおうかということです。十分に説明責任を果たした上で、政策を組み立てていくことは、私個人としても、この政策を進めていく上では有意義だと考えております。

【意見等】 各コミュニティとの話し合いの中で、市民が納得できるような手数料額の設定をしてほしい、市当局の努力もお願いしたい、ということを申し添えます。